



生涯スポーツ社会の地盤を創り、 夢を拓げる地域スポーツクラブ

だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の形成を目標に、東京都教育委員会では平成14年7月に「東京都スポーツビジョン」を策定し、その基盤となる「地域スポーツクラブ」の設立・育成を積極的に支援しています。ここでは、現在都内で設立を確認している31クラブの中から、2クラブを御紹介します。

スポルテ目黒

(目黒区)



スポルテ目黒は、目黒区の中央地区(人口約5万人)に設立された地域スポーツクラブです。いつでも、だれでも、いつまでもスポーツや文化活動に親しめる環境づくりを行い、地域住民の健康づくりやふれあいに寄与していくことを目的に平成16年10月に設立されました。

このクラブは、24種目の活動を碑文谷体育館・野球場・庭球場を中心とした施設を会場として、主に月・土曜日に活動を行っています。特に休館日だった月曜日をクラブが責任をもって運営する形で借り受けることができたことで、朝から夜まで、自分がやりたい種目を好きな時間に来て楽しむことができ、設立当初約200名だった会員が2か月で400名、17年度更新時には約550名に急成長しています。



閑静な住宅街にある碑文谷体育館の駐輪場には、朝からたくさんの自転車が並び、人気抜群の親子でふれあうリトミックや、

野球場の芝生を利用して行う「グラウンドゴルフ」、6面のコートでテニスを行う会員の皆さんであふれていました。

クラブの理事長の澤井翼さんは、「珍しいところではスナッグゴルフ(遊びを重視した子どものゴルフ種目)やフェンシング、ティーボールなども行っていて、これからは可能などころから文化活動も始めたい、そして多くなった会員の皆様一人一人が充実した活動ができるようサポートしていきたい」と話していました。

三鷹市西部地区地域クラブ推進協働連合

(三鷹市)



三鷹市西部地区地域クラブ推進協働連合(通称:三鷹ウエスト)は、三鷹市西部地区のスポーツや文化活動を推進し、青少年の健全育成や地域住民の生活の向上を図って、住みよいまちづくりを行い、西部地区の発展に寄与することを目的に、平成16年8月に設立されました。

このクラブは、ソフトバレーボール・レクリエーション、フットサル、サッカーなどのクラブが連合した形で組織をつくり、ひとつの地域スポーツクラブを形成していることに特徴があります。また、その他にも2つの協力団体があり、三鷹第二小学校や羽沢小学校の校庭・体育館を中心的な活動場所として、連合体の基盤を拓げているところです。ちなみに7月から子どもたちのチアダンス(チアリーディングの中のダンス部分を独立させた競技)の活動も始まり、一層元気な声が聞こえるようになりました。

小学生のためのソフトバレーボールの活動では、20名程度のPTAや指導者が小学校3年生~6年生までの40名を超える子どもたちといっしょに楽しく汗をかくだけでなく、ふだんからのあいさつや、自分たちの使う体育館の掃除を協力して行う姿勢の大切さを教えています。

クラブの代表を務める西野入瑛子さんは、「日ごろの活動の発表の場として年1回「ウエスト祭り」を開催し、大人か



ら子どもまでの交流を図っていくとともに、連合体を大きくしながら、地域の子どもの居場所づくりの活動などにも積極的に協力していきたい」と話してくれました。